

# Pressure sensor mps pressure $\Delta 40/\Delta 100/\Delta 500/1000$

## 1. 技術と固有の特性

MPS pressure シリーズの圧力センサは、様々な状況で利用することができます。

このセンサは、ほとんどのサイズのリザーバーのフィルレベルセンサーとして使用することができます。

この構成では、センサはリザーバー内のクーラント量に発生する圧力をを検出します。

別の用途は、フィルタエレメントの差圧測定による、目詰まり、残留のモニタリングが出来ます。

ポンプの入口と出口の間の差圧測定はハードウェア・テスターに価値ある情報を与えることができます。

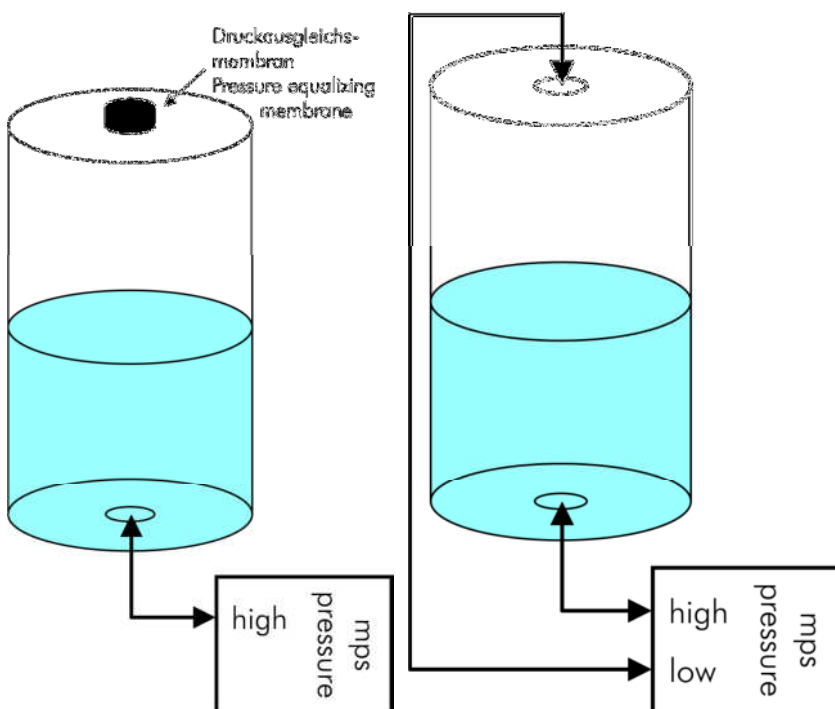
## 2. 器具の設置

センサのスレッドに、適切なフィッティングを設置してください。

穏やかに、手でフィッティングを締めてください。過剰な力を加えてプラスチックボディのスレッドを傷つけないようにして下さい。

## 3. フィルレベルのセンサーとしてのインストール

センサは、リザーバーと同じ高さか低い位置に設置します。



リザーバーの底面のインレットにセンサの「high」ポートを接続します。正確なセンサの読み込みをするには、チューブの長さを最小にします。

さらに、リザーバーの上部ポートに

「pressure equalization membrane」または、センサの「low」のポートを接続する必要があります。

「low」ポートを使用する場合は、リザーバーの最上部に接続するホースはエアで満たされている必要があります。そうで無い場合は、センサの測定値が安定せず実際と大きく異なる可能性があります。

## 4. 差圧センサとしてのインストール

T コネクタ等を使用して監視するコンポーネントのクーラントラインの前後にセンサポートを接続します。相対的に高い圧力を期待する箇所に「high」のポートを接続します。

Component	connect „high“ to	connect „low“ to
Filter	Inlet port	Outlet port
Water block	Inlet port	Outlet port
Pump	Outlet port	Inlet port